

Little Link

仙台まちづくり若者ラボ2024

みんなで作って、食べて、お話しよう

Little Link (子ども・教育 チーム)

Little Link

Little Link メンバー

浅野圭亮
小野寺敬志
鈴木将太
鈴木亜里紗
長浜多嬉
狩野なつみ
猪俣由椰
菅原茉唯
近藤志乃（メンター）



- メンバーの現時点での直感や興味から「子ども・教育」で思いつくことばや、やってみたいことを出し合う。
- 「仙台で」やってみたい！という視点でさらに絞り込む。



▼
テーマ

仙台 × インクルーシブ教育 ・ 探求学習

フィールドワークとして、すでに仙台で活動している団体のイベントにそれぞれ参加することに決定

フィールドワーク① ミンナシテマザール

【概要】

日時：2024年7月13日

場所：青葉区中央市民センター

主催：仙台市生涯学習支援センター

内容：障がいのある人もない人も共に学ぶ。今回は、一緒に七夕飾りを作成するイベント。

【FWでの学び】

- ・ 作り方、作るものなどみんなとにかく自由。主催者側が専門家配置など体制を整えたうえで、ルーツは作らず自由にやらせている。
- ・ 途中で休憩を取り、自分のペースを大切にしている。



アンダンチインタビュー

- 8/21 株式会社未来企画 代表取締役
福井大輔さんにインタビュー
- アンダンチ → 多世代交流複合施設



- 他の施設にはない環境
→ 開放的で交流のしやすい環境
- 人が集まる場を提供するだけで、ルールを決めず自由に
主催者側が決めるイベントではなく **参加者に委ねるイベント**

東北学院中高 探求学習授業見学

- 7/16中学3年生、8/29高校3年生の探求発表会
(ポスターセッション見学、代表者のPPT発表の見学)
- 各生徒がテーマを定め、それぞれ研究を進める
- 各生徒の発表を聞き、フィードバックした
※イメージは大学の卒業論文発表



- せっかくの良いアイデアも発表で終わってしまっている印象
実行できる場所があると良いのでは？
- 学校現場よりも第三機関でやった方がうまくいくのでは
→**私たちが何かきっかけとなる場を作れないか**



アンドンチ縁日

● 出店内容

焼きそば、フランクフルトなどの屋台
駄菓子屋
ワークショップ
手芸品、野菜販売
etc…



- 様々な人と縁日を通して楽しい時間を共有できた
- みんなが”当事者”となることで楽しい空間を作り上げることが実現
- 人と人をつないで新しい出会いや関わりが生まれる場所



フィールドワーク⑤

「日本語を母語としない中学生のための夏休み教室」

対象：日本語を母語としない中学生（1～3年生）

概要：東北大学文学部日本語教育専修の集中講義の一環

参加者：子ども10人、保護者3人

内容：じゃんけん列車、制度説明、ドリームマップ作成



○海外ルーツの子を取り巻く状況

①都道府県、高校ごとの制度の違い

（配慮申請、受け入れ枠の整備）

→知らずに年齢を重ね、サポートを受けられないことも

②県によるオンライン日本語支援

→私立高校の生徒は受けられない

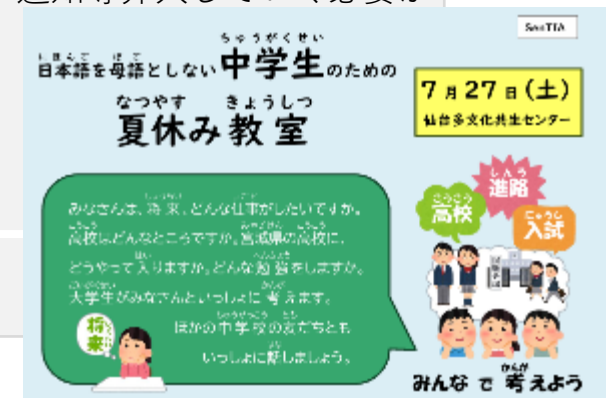
○考えたこと

①日本語を母語としない方々への周知

・日本語での情報収集は難しい
→ただ広報するだけでなく、プッシュ通知等介入していく必要がある？

②若者について

・社会課題について自ら解決策を考える機会があれば良い



★通町はなばたけ食堂★

通町コミセンで月一で開催している子供食堂です！
実際に活動に参加させていただきました！



- 地域の課題に向き合っている人がいる
- 自然とつながりが生まれる空間
- 自分が関われる活動って意外にある



6つのフィールドワークで学んだこと

- ・多世代がコミュニケーションを円滑に取れる場づくりが重要
- ・それぞれの発達ステージに合わせた学びが必要

→特に小中高大はそれぞれの培ってきた土台の違いが存在

- ・共通要素の組み合わせ

- ・子ども、若者が社会問題について自ら解決策を考える機会が欲しい
- ・日本語を母語としない人にとって、日本語での情報収集が難しい

- ・主催者(ホスト)が参加者に目的や参加意義を大きく働きかけるよりも、
ルールを決め過ぎず適度に委ねて、多様な人が集まれるイベントのほうが、
豊かな気付きや学びが生まれる？

アクションの方向性

■FWを模倣する形のアクション?

(例) 探求学習のイベントや、子ども食堂を開く。インクルーシブ(外国ルーツの子ども、特別支援、普通学級といった垣根を超えた)避難訓練

■「あるテーマについてみんなで話す」といったコミュニケーションをメインにした企画?

学校外の場所で**集まって話すだけで十分な利点**があるのではないか

→しかしいきなり「話をする場」だけを提供しても忌避される恐れ

主目的は「みんなで楽しいことをする」に留め、

副次的な効果として参加者同士のコミュニケーションを促進させるのはどうか

チーム名に従い、「いろいろな人が出会い、小さなつながりが出来る」が最終ゴール

「楽しい事」の内容についてはあまり難しく考えず、「普段しないけどしたい」「食欲の秋」というワードから「パンケーキ作り」に決定

→トッピングに個性が出やすい事から会話が生まれやすい、トッピング争奪チーム対抗のレクによってチーム内コミュニケーションの促進等の利点がある

アクション

- 多様な人のコミュニケーションが取りやすい**場づくり**が重要
- **日本語以外**での情報収集手段の充実
- 適度な距離感で参加者同士の**関わり合いが自然に生まれる環境**



プラン

小さなつながりを生み出すために
多様な人と一緒に楽しむイベントを開催する

「楽しむ事」を目的としたイベントで、

参加者同士の会話が自然に出来るような「場」を提供する

日本語版チラシ

みんなで
パンケーキを作ろう!
2024

10.20 SUN
15:30~17:30

参加費
無料

あおばくちゅうおうしみんせんたー ちようりじっしゅうせつ
@青葉区中央市民センター 調理実習室

対象: 6~15さいまでの子ども
(保護者の付き添いは1名まで可)
定員: 20名 (定員に達し次第申込終了)

パンケーキ作り クイズ・ゲーム おかし掴み取り

ワクワクドキドキ! どなたでもご参加いただけます!

参加申込みは二次元コードから!

【お問い合わせ先】
Little Link (仙台市事業「仙台若者街づくりラボ」参加者チーム)

英語版チラシ

Pancake
Party
2024

10.20 SUN
15:30~17:30

For
Free

Applies to : the kids 6-15 years old
(only 1 parent is welcome)
@ Aoba-ku central city center , Sendai
せんだい あおばくちゅうおう しみんせんたー
Capacity: 20people (First come first served basis)

Making Pancakes Activities Candy grabbing

We are looking forward to your participation !

Application

【Contact】
Little Link (From Sendai Youth Development Lab Project)

アクション結果

みんなでパンケーキを作ろう！！2024

日 時	2024年10月20日（日） 15:30~17:30
場 所	仙台市青葉区中央市民センター 調理室
対 象	6歳～15歳の子ども ※保護者1名まで同伴可能
内 容	①パンケーキ作り ②クイズ・ゲーム ③お菓子つかみ取り
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none">・初めて参加でもリラックスして参加出来て良かったです。本日はありがとうございました。・Let's have some outdoor activities in future.・とても楽しかったです。また参加したいです。・付き添いが一人だったため、スタッフの方にはたくさんご迷惑をおかけしてしまいました。ありがとうございました。



「みんなでパンケーキを作ろう！」
当日の様子

まとめ

半年間の活動を経て

- 仙台市には、子どもや教育に関するイベントがすでに数多くある。しかし、市政だよりや教育委員会を通しての周知が、若い子育て世代にあまり効果的ではない現状が見えた。
- メンバー自身が成長できた。一部のフィールドワーク先での活動を今も継続している。
- アクションに参加した子供と別のイベントで向こうから声をかけてくるなど、「小さな繋がり」を通して、子どもたちの世界が「各学校・各家庭」から「仙台」に広がっていることを感じる。



今後

- ・フィールドワーク先での活動を継続する。
- ・もう少し広報期間を長くして、つぎのアクションを企画する。
- ・イベント情報は見出しだけでも多言語で作成し、
チラシやSNSでダイレクトに発信するよう自らも意識、または関係団体に声がけしていく。

Little Link

ご清聴ありがとうございました

仙台まちづくり若者ラボ2024
Little Link (子ども・教育 チーム)

Little Link